



表紙の写真

## 「孫子の旗と諏訪神号旗」

塙山市霧石にある雲峰寺は、天平17年(745)に行基が開創したという。武田氏の祈願所として重んじられた。武田勝頼が天日山の合戦で敗れ武田家が滅亡、家臣に託した武田家の家宝である日本最古の「日の丸の御旗」をはじめ、戦場で用いた軍旗が当山に奉納された。表紙の旗は、現在雲峰寺の宝物殿に保管展示されている「孫子の旗」と「諏訪神号旗」である。「風林火山」の旗であまりにも有名で、信玄公の軍旗である。長さ3.8メートル、幅78センチメートル。「諏訪神号旗」は御旗身旗。また、本堂、庫裏(上写真)、書院、仁王門は重要文化財に指定されている。境内は深い木立に囲まれ、祇園時代の面影を今に伝えている。紅葉の頃、ぜひ訪ねてほしい名刹だ。

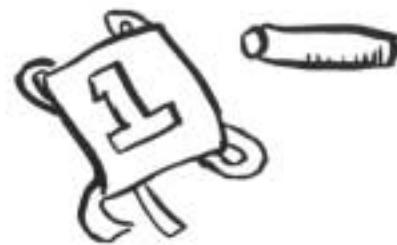
(写真と文:浅川 翠)

お詫び:「MUH」vol.18の早野組の広告の写真に誤りがありました。お詫びいたします。

「MUH」vol.18 1998.10.1  
企画/早野グループ「MUH」編集室  
深沢道・矢田道生・横田雅幸・久保田光一  
編集/株式会社ニュースメディア甲府  
三浦弘・三井智男・石原由里子・高山ひとみ/  
岸田陽子・宮塚利雄・杉村聰・青木茂樹/  
浅川毅・柳克明  
印刷/株式会社サンニチ印刷

誌名の「MUH」は、早野組の社歌である「和」を託した  
Mate(仲間) Union(結束) Harmony(調和) の頭文字から  
とりました。幻のムー大陸のロマンを發揮します。

<b>【フォーカス】</b>	
<b>テーマ 運動会 江宮隆之・古屋久昭・岩崎正吾・佐藤眞佐美</b>	2
<b>特集</b>	
<b>山梨21 川久保欽子さん 緑が丘学園 学園長</b>	4
ホスト 早野瀬	
「食べる」って何だろう 豊かさのなかの食事改善	
子供の人気とりはダメ 賢いお母さんは料理上手	
「卓袱台」を知ってますか もっと家族の団らんを	
<b>トピックス</b>	
<b>初秋の中朝国境を踏査</b>	10
<b>企業ウォッチング</b>	
<b>株式会社 武藏 赤池 和水氏</b>	13
<b>サークル訪問</b>	
<b>山梨県猛禽類研究会</b>	14
<b>セミナー</b>	
<b>21世紀の街づくりへの胎動 Part3</b>	15
<b>インフォメーション</b>	
トヨタホーム山梨・甲府通運・早野組・トヨタビスタ山梨	16
<b>ようこそ歴史</b>	
<b>樋口一葉</b>	18
上野晴朗	
<b>アートへのまなざし</b>	
<b>ボクの美術品観察日記11 山本育夫</b>	20
<b>トレンド</b>	
<b>カメラともっと親しくなろう</b>	22
<b>BOOK</b>	
こんなところに山梨… BOOKコーナー 「中学生で簡単にできる中間試験」	23
<b>湖を見るハイキング</b>	
<b>日川渓谷 竜門の滝</b>	24
上野巖	
<b>甲府通運前史を訪ねる(11)</b>	25
林陽一郎	
<b>ユーザー訪問</b>	
<b>有限会社 内藤薬品商会</b>	26
<b>お家探見</b>	
<b>込山 武さん</b>	27
<b>リレーエッセイ</b>	
<b>富士山の見える街</b>	28
内藤かおり	
<b>ときのひと・FACE</b>	
早野組 川手美富さん	29
<b>おしゃれ グランパーク 著 物屋</b>	30
たべる 懶肉 坊ちゃん	
<b>お茶の間の民俗学(9)</b>	
<b>—ふるさとの心と味(4)—</b>	31
志摩阿木夫	
<b>コラム</b>	
<b>某月某日</b>	32



## 金木犀と駅伝と

江宮隆之

裏庭にあった金木犀の薫りが運動会の思い出につながる。晴れた日より雨の日の方が金木犀はよく匂った。それでいて二日も雨が続くと不安になった。運動会が流れてしまったら困る。運動会を嫌がる友達もいたが、大抵は走り、跳ねるのが好きな山の子ばかりだった。

運動会の昼休みがまた楽しかった。直前の地域別リレー予選をトップで通過した後だから、昼飯は格別だった。不思議に覚えているのは茹でた落花生の味である。

金木犀と茹で落花生。これが運動会の嗅覚と味覚だ。

「さて」。昼食を終えて午後の種目に向かう。足が速い子供にとって運動会は、最大の自己表現の場であった。運動会の見ものはリレー。あれは駅伝に似ている。違うのは走る距離であろう。

駅伝は日本で考案された。起源は、江戸時代の飛脚に由来するとか、飛鳥時代の遠隔地への伝令であったとか様々に言われる。

大正6年(1917)に「駅伝」という名称も初めて使われた。東京遷都五十周年を記念してある新聞社が上野不忍池で博覧会を開いた。その記念行事として何か新しい競技を、と実施されたのが「駅伝競争」であった。

「京都から東京までのマラソンリレーをやってみよう」。駅伝という名称は当時の皇典考究所長で陸上競技界の長老であった武田千代三郎の命名になる。

さて、世界初の駅伝だが、京都→東京間508kmを23区間に分けて、関西・関東の2チームが競った。京都三条大橋スタート。東海道を走って大井川を渡り、箱根越えで上野不忍池がゴールであった。

結果は関東が41時間54分で勝った。関西の記録は43時間13分であった。どうやら、現在に至るまでの大学駅伝における「関東優位」は、この時以来の伝統になったようである。

今年も金木犀の季節になった。茹で落花生の季節でもある。

だが、運動会を教えてくれた金木犀の大木は今は無い。転居した後で切り倒されたのだ。

金木犀は思い出の中へしか残らなくなってしまった。

■1948年山梨県生まれ 第13回歴史文学賞 第8回中村星潤賞受賞 「白磁の人」(河出書房新社)が5月文庫本化 7月に「小西行長」(PHP文庫)最新著「一葉の雲」(河出書房新社)を刊行

## ピリこそ、すばらしい

古屋久昭

運動会の華、「対抗リレー」。プログラムが進んで、いよいよリレーになると、もう胸がワクワクし始める、という経験は誰もが持ったことだろう。体育祭、国体、オリンピックと、スケールが大きくなれば、さらにリレーの華も大きくなるだろう。

さて、リレーに私も一度だけ出たことがある。小学生のとき組別対抗リレーというのがあって、選手に選ばれたのである。特別足に自信があるわけではないので、ひそかに夜、練習もした。だが、努力の甲斐なく惜しい結果となつた。アンカーレースで走った私はピリでゴールをしたのだ。前走者が転倒してしまったのである。それでもバトンを受けた私は懸命に全速力で走った。がいっただけ走った距離はもう縮まらなかった。ピリになつた我々チームへの拍手は、むろん、おこぼれ拍手だけだった。

ところで、たとえピリであっても、大声援を受けたり、拍手喝采り止まずであったり、大きな感動を与えた、という場面もあるのだ。

足の不自由な少年が、足を引きずりながら、一周二周引き離されながらも、ただ一人黙々とグラウンドを走っている。時間が一瞬止まったようになる。観客は彼にくぎづけになる。彼はついに完走し、彼のために再び張られたテープを切る。観客は立ちあがり、彼にありつけの惜しまない拍手を送る。まさに感動の一コマである。

広いグラウンドをたたいたひとりピリで走っている我が子を見ていた父親が観衆から飛び出し、横に並んで一緒に走ってやる。

ピリになって、何ももらえない子たちに、校長先生が朝礼台に立って心のリボンを投げて差しあげる。その子たちが、見えない心のリボンを受けとめる仕草をする。いい話である。

ピリって何だろう。ピリは決して恥ということではない。

私たちはまだあの時の映像を忘れる事はない。そう、1984年ロスオリンピック女子マラソン、スイスのアンゼルセン選手の意識朦朧としながらも、一歩また一歩とよろめきながらゴールした、あのシーン。世界中の人たちが、感動はもちろんのこと、人としての生き方、人生観まで考えさせられ、教えられた。

ピリって、なんてすばらしいことだろう。

■1943年御坂町生まれ 日本現代詩人会員 日本国際詩歌文学館評議員 詩集に『落日探集』ほか 童謡集に『虫らしく花らしく』 エッセイ集など

## 運動会ノスタルジア

岩崎正吾

運動会の思い出というと、やたらに広かった秋の青空が浮かぶ。曇り日や小雨の降る中ということもあったろうが、なぜかいつも吸い込まれるような深い空の思い出しかない。

ピストルを鳴らすのは若い男の先生で、子どもたちのスターだった。号砲一発、青い空に白い硝煙が一筋(子どもの座った視点だとそうなる)、わっと歓声が上がり、選手たちはいっせいに走り出す。かくべつ運動が得意だったわけではないが、小学校の運動会は楽しかった。

甲府の郊外にあったわが小学校の周辺は、一面に田や畑が広がっていた。農繁期には、農休みなんていふものがいたのである。戦争が終わって10年は過ぎていたのに、なぜか、運動会のフィナーレは6年生の男子が上半身裸で行う行進だった。歩きながら大きな声で歌を歌つたが、あれは後年、映画を見て何とか戦の花と散れという軍歌だと知った。もっとも、わたしたちの歌った歌は「垂れ穂の稻は波うねり、秋たけなわのこの里に、平和の光みなぎれり」という替え歌になっていた。妙な民主主義教育だったなあと思うが、あの頃は行進するのが誇らしかった。

父母の参加する学年別リレーも、子どもたちの熱狂的応援を集めた。わが学年は1年から6年まで、ほぼ常勝の勢いだった。功刀のお父さん、若尾のお母さんというのが男女のスターだった。若尾ザイバツの一族だという若尾のお母さんは、ふだんの上品な物腰は信じられないような躍動にみちた走りをした。功刀のお父さんは美しいフォームで、カモシカのように端整に走った。いつの年だったか、功刀のお父さんが直前に風邪を引き、わが学年の勝利が危ぶまれたことがあった。しかし、マスクをしたまま走り、功刀のお父さんは例年のごとく他を圧してゴールに入った。ヒーローは子どもたちの身近に実在したのである。

後年、親として子どもの運動会に参加したが、昔のような純粋なものはなかった。あれは時代の雰囲気というものだったのか。

■1944年甲府市生まれ 小説家・長編歴史ミステリー「異説本能寺・信長死すべし」が講談社文庫として再刊 新しい信玄を描いた長編歴史エッセイ「武田信玄はどこから来たか—武田騎馬隊の謎を追う」(山梨ふるさと文庫刊)が話題を呼ぶ

## 暖め過ぎたネタ

佐藤真佐美

Tad(Tadao)車路さんは1970年当時、40代半ばの帰米二世。両親は広島の出身で、子どもの教育は日本で受けさせたいと、戦前被日本へ送った。Tadさんは戦後帰米して(これを帰米二世という)庭師になった。高校3年の息子、高校2年の娘がいた。

カリフォルニアの11月は気候がよく、日本の運動会シーズンに当る。といって紅白に別れて走る競技などはない。フットボールがそれに代わる。毎晩夜の8時頃から、高校のグラウンドは熱気に包まれる。学校対抗の試合が組まれていて、仕事を終えた父兄や一般市民が集まつくる。ムチムチした半裸のような女子高生が、試合中ポップコーンなどを売つて歩き、試合の合間にチアガールとなって華麗な演技を披露する。これも競技の一つである。

「ミーのボーイが出るんじゃ。行きましょう」

Tad車路さんが、7時半頃になると、車でぼくを迎える。車路さんは身長175センチ、長男は180センチを超える巨漢で、白人の間でも見劣りしない。フットボールの選手は体力がなければつとまらないので、日本人選手は少ない。

「ガールがね、白人のボーイと仲好くなつて、頭がいたい」

試合の往き復りに、車中で車路さんがこぼす。実はぼくをフットボールに説く本当の理由は、この愚痴を聞いてほしいがためだった。男はまあいいが、女が白人と付き合うのは好ましくない。離婚率が高い。そのことを伝えようとしても、実は言葉がよく通じない。子どもたちはアメリカ感覚だが、教育を日本で受けた車路さんの倫理感との間には大きな開きがある。この世代間のギャップは深刻だった。一世と二世、二世でも帰米二世とその子の世代では、言葉はもちろん考え方まるで違う。

一世にとって孫のようなぼくは、唯一心の底から語りあえる孫だった。帰米中知らず知らずのうちに、ぼくは一世および帰米二世。さらには離婚した戦争花嫁の、カウンセラー役を引き受けている。いつかそのことを作品に書きたいとおもいつつ、糖尿病が進んでしまった……。

■1939年北海道生まれ 日本児童文学研究会員 日本国際詩歌文学館評議員 著書に「怪奇！大東京妖怪ゾーン」(ボブラン社)「文ちゃんのはるかな知床」(北海道新聞社)近著に「シレットフのシルバー」(草薙社)「山梨の童話」(リブリオ出版)など

料理は化学 そして愛情  
「健康をプレゼント」したい  
わが家の食卓を見直そう

ゲスト  
かわくぼきんご  
**川久保欽子さん**  
緑が丘学園 学園長

ホスト  
はやの まよし  
**早野潔**  
早野組社長

「食べる」って何だろう  
豊かさのなかの食事改善

早野 現代は「食べる」ということにたいへん熱心な時代ですね。テレビでも料理番組は人気ですし、目新しい店も進出し、料理も多様になりました。その反面「食」にまつわるいくつかの問題も出てきました。先生は料理を研究されて、また指導者としてどれくらいになら

れますか。

川久保 もう40年になろうとしています。時代とともに、食生活は大きく変わってきましたね。かつては力をつけるためにご飯をたくさん食べよう、たまには栄養のある卵を食べよう、ときには肉も食べなくては、という時代がありました。

早野 昭和30年代ですかね、戦争中と比較して、豊かになったと満足していました。

川久保 その頃はすでに料理を教えていましたが、豚肉を買うのにも肉屋さんがないし、ましてや牛肉なんて売っていましたから、鯨肉を使って教えていました。マヨネーズを作りたくてもサラダオイルがありません。食材を求めるのにも苦労しました。

早野 それが、昭和40年代になると成人病などという言葉が出てきました。それまで貧しい食事をしていた人たちが、おいしいものを知って、求め、急速に食生活が変わっていきました。日本も経済大国になっていきました。

川久保 いわゆる飽食の時代ですね。高血圧症とか心臓病、糖尿病が取り沙汰されるようになってきましたね。食事と病気の関わりが問題になるとは、誰しも思ってもみなかったでしょうね。

その頃、出会った言葉に「健康とは自分自身に贈ることのできる最高のプレゼントである」というのがあります。健康を維持していくためには、自分自身で食生活を考えいかなければなりません。また、家族の健康を守らなければなりません。のために、女性の役割は大きいですね。しっかり「食」を学んで欲しいと願うようになりました。



早野 潔

■川久保欽子  
日本女子大学家政学部生活芸術科卒業  
緑が丘学園学園長  
山梨放送、山梨日日新聞社、テレビ山梨などの専任料理講師  
山梨県料理学校協会会長  
東日本料理学校協会理事  
全国料理学校協会評議員  
山梨学院大学食物栄養科非常勤講師  
著書に「調理実習 日本国料理」「手作りの味100選」「川久保欽子の料理を100倍おいしくする本PART1」「ホヤホヤ萬葉 料理入門」

子供の人気とりはダメ  
賢いお母さんは料理上手

早野 ファミリーレストランも盛況ですね。家庭で料理を作って、家族が顔を合わせて食事をすることよりも、外食産業に依存するようになっていますね。

川久保 珍しいもの、おいしいものを、気楽に食べることができますね。子供連れも多いですね。家庭の食卓が、ファミリーレストランに移ってしましました。しかしそれが、果たして困らんといえますかどうか。外食産業は産業である以上、商売です。食材の安全性や、健康についてどこまで配慮されているのか不安ですね。

早野 メニューも豊富になって驚きますね。それらを調和のとれたかたちでいただけばよいのですが、そうではなくて、豊富さがかえって好き嫌いを生んで、偏食の感もあります。家庭ではどうなのでしょう。

川久保 問題なのは、食事が家庭からの発想ではなく、外食産業の発想になっていることですね。ファミリーレストランで食べたメニューが、そのまま家庭に浸透してきています。親は子供の喜ぶものだけを見よう見まねで作るよう

なります。当然、肉料理が多くなるでしょうし、たくさん油を使うことになります。子供の嫌いな野菜料理はおのずから避けられていきます。これではさらに偏食が進むだけで、子供の人気とりにはなっても、母親としては手抜きといわなければなりませんね。食事のマナーやしつけなどには、とうてい及ぶませんね。

早野 子供の成人病などという、奇妙な現象もありますね。

川久保 日本人にとっては、やはり和食が基本です。衣食住、それをとっても、日本人の身体や、気候風土に合った環境がもっともふさわしいものです。洋風化が進んでいますが、食生活でいえば、農耕民族であった日本人の「食」が、狩猟民族の「食」と馴染むわけがありません。日本人の食生活は、米、そして味噌、醤油が食材としての原点です。民族

的な食生活というのは、長い間その民族の身体を作ってきたものです。ですから、急速な食生活の変化というのは、必ず弊害をもたらします。

早野 医食同源という言葉も思い出しますね。

川久保 日本人の寿命を伸ばしたものは、肉というたいへん高蛋白なものを摂取するようになったことと、医学の発達をあげなければなりませんが、過度の洋風化は考え直す必要がありますね。

早野 健康をプレゼントできる人って、素敵ですよね。そして、健康をプレゼントされる人って、幸せですよね。

世界に誇れる先人の知恵  
すき焼きと天麩羅が代表格

早野 和食のなかで、これぞ自慢の料理、先人の知恵、と誇れるものは何で



川久保欽子さん



しよう。

川久保 それは、すき焼きと天麩羅でしょうね。これはどこの国に行っても負けないほどの素晴らしいです。というのは、組み合わせがとてもいいのです。すき焼きは、かなり時代が新しくなってから普及したものですが、肉、コンニャク、豆腐、ネギなど、いろいろな材料を使います。たとえば、コンニャクは、肉をたくさん食べても身体のなかの血液をきれいにする働きをします。豆腐もよろしい、ネギもよろしいというわけで、いったいどなたが考えついたのかと思うほど、感心させられます。

天麩羅も植物性の油で作るのですが、食材が多いじゃありませんか。身近な野菜をいろいろと使います。いろいろな色の野菜を上手に食べる工夫がありますよね。食物繊維も、ビタミン類も、ミネラルもとれます。

早野 外国人にも定評がありますね。おいしいばかりでなく、栄養価も高いということも自慢したいですね。

川久保 これに、みそ汁をつけたら、米食の民族にとっては最高ですね。

早野 食材といえば、四季をとおしていつでも何でもあって、旬というものを忘れてしまいますね。

川久保 これは料理をするものにとってはいいことなんですね。なぜかといいますと、たとえばイタリア料理を作りたいと思っても、昔はナス、キュウリ、トマトなどは夏しかなかったわけですね。しかたなく缶詰を使ったり、ケチャップを使ったりするほかないわけで、本物の味ができません。

料理を教える立場からしますと、一応は旬のものを材料にしますが、世界各国のものを教えようというときには、一

年中食材が豊富というのは長所といつていいでしょうか。ただし、若い人たちが、すでに旬という言葉さえわからなくなっているのはさみしいことです。

早野 旬を楽しむ、ということの、四季のある日本だからこそその喜びは失われていくのでしょうか。なにもかも、一年中出揃っていますからねえ。

川久保 しかし、旬は日本の味わいの伝統です。どうしても伝えていかなければならぬことです。そこで、日本に

しかない香り、和風のハーブといつてもいいでしょうか。そうしたものを季節ごとに使うように心がけています。季節の香りといいますと、さて、どんなものをお感じになるでしょうか。冬はユズですね、春先になると山椒の木の芽の香りが恋しくなります。夏は畑に生えた青じその香りです。それから秋になるとミョウガです。ミョウガは一年中あるのですが、でも秋のものは香りが格別です。

早野 香りとともに、日本の風景が目に浮かんできますね。郷愁といっていいかもしれません。

#### 手間暇かけてこその味 さて、和食のうま味とは

早野 和食は、美しく、凝っていますねえ。まるで細工ものようですね。

川久保 伝統を伝えていくことはよいのですが、専門店の和食は形にこだわり過ぎて、さて味わいのほどはどうか

と、心もとない気がします。

早野 形ばかりだと、ファミリーレストランと同様に、かたよったところが出てきますね。やはり「食」の基本が大切ですね。和風のおいしさって何でしょう。和風の味の秘訣は何でしょう。

川久保 つきつめると、だし、うま味ですね。だしと塩味、塩味というのは醤油もあるし、塩もあるのですが、だしと塩味のバランスのよさが、うまさを決定します。最近は、だしの素や、液体の合成されただしが普及して、お店でも使っていますが、すぐにわかりますね。

日本人は、昔から親しんできたコンブと鰹節、煮干しは、離してはいけません。それでなければ、そば屋も駄目、うどん屋も駄目です。それが味の伝承ということなんです。新しいものを合理的に使って味をよくしようとしても、あらかじめ無理なのです。

早野 料理に手をかけないことをはじめとして、手軽さと無関心さは、今の時代の一般的な風潮かも知れませんね。家庭もそうかも知れません。家庭の料理をないがしろにしたのでは、コミュニケーションがはかれません。愛情の味わい、わが家らしさを表現してもらいたいですね。



初秋の中朝国境を踏査

# 50余年の歳月にも 満々と水を貯える水豊ダム

今日、9月9日は1948年に朝鮮民主主義人民共和国（以下北朝鮮）が創立（建国）して、満50年にあたる記念すべき日である。私は対岸にある北朝鮮の新義州が見える遼寧省・丹東市のホテルで北朝鮮のテレビを見ながら、この記事を書いている。今回の中朝国境踏査は7年連続8回目になるが、目的は中朝国境に50余年の歳月をへても今もなお、建在する鴨緑江鉄橋と水豊ダムを見学することと、北朝鮮の食糧事情や鴨緑江を往き来する“モノとヒト”的流れを調べることにあった。

北朝鮮に流れる物資

北朝鮮の食糧不足と飢餓が伝えられるが、その実態はどのようにになっているのだろうか。北朝鮮のテレビを見るかぎり、ピョンヤン市内の人々は、金正日総書記の国防委員会委員長への就任を祝うパレードや夜を徹しての踊りに酔いしれており、およそ食糧飢餓とは縁遠い世界の出来事である。それでは日本のテレビや新聞に伝えられる飢餓は北朝鮮には存在しないのだろうか。このナゾを解くには北朝鮮の正門からではなく、裏門である中朝国境地

帶から見れば分かる。“頭隠して尻隠さず”的ことわざもあるように「食糧帆船」は確実に存在し、今、この瞬間にも北朝鮮から食べ物を求めて中国側に逃げてくる人がいる。ビョンヤンをはじめとする大都市ではそれなりの物流があり、モノも不足していないが、流通ルートからはずれた地域では“モノ不足”がはげしく、食べモノ、着るモノを求めて流浪する人たちがあとをたたない。食べるモノ、着るモノが少ない地域に物資を運ぶ“生命線”が、中朝国境1,500キロメートルに存在する。鴨緑江と豆満江の国境橋（人道橋・鉄橋）であり、もう一つは二つの川でくりひろげられている密輸である。

新たな国境ビジネスの誕生

ボッタリジャンサクン(行商人)と呼ばれる人たちは中国にいる朝鮮族の商売人で、この人たちが一年に十五万人以上も北朝鮮側に渡って行って、商売をしているが、最近、このボッタリジャンサクンにもう一つの新たな仕事(ビジネス)が加わった。それは北朝鮮に家族や親類がいる韓国人が、ボッタリジャンクサンに、北朝鮮での生存の確認を依頼する仕事である。いわゆる“人探しビジネス”であるが、これにはもう一つある。北朝鮮の人が逆に、中国や韓国、日本にいる親類探しを依頼するのである。私は昨年、豆満江のある国境橋を渡って北朝

帶から見れば分かる。“頭隠して尻隠さず”的ことわざもあるように『食糧飢餓』は確実に存在し、今、この瞬間にも北朝鮮から食べ物を求めて中国側に逃げてくる人がいる。ビョンヤンをはじめとする大都市ではそれなりの物流があり、モノも不足していないが、流通ルートからはずれた地域では“モノ不足”がはげしく、食べモノ、着るモノを求めて流浪する人たちがあとを合鎮・金寧・開山屯・三峰・園門・南陽・沙沱子・セッピヨル、圈河・元汀里があり、もう一つ朝露親善橋が河口付近にある。これら12の橋を通して毎日午前9時から午後5時まで“ヒトとモノ”的往来が行われているが、これら橋を通じた物資の往来が“表の顔”とするならば、川を挟んで船で又は直接渡河して行われている“ヒトとモノ”的流れはさしつめ“裏の顔”となる。

宮塚 利雄

みやづか としお

山梨学院大学  
経営情報学部助教室

鮮側に入った事があるが(密入国)。税関の周囲には中国側から渡って来るボッタリジャンサンケンを待ち受ける人が鉄条網にはりつくように大勢いるのを目撃した。

北朝鮮の人たちは、自分の親類や家族のいる住所・氏名を記したメモを渡し、これをボッタリジャンサクンが、中国側に帰って来て確認するのである。延辺朝鮮族自治州にいる私の知人の大学教授は、昨年この“人捜しメモ”を四回もボッタリジャンサクンから渡され、仕方なく北朝鮮の親類と会ったが、その時、知人はトラックいっぱいに米を運んでいた。知人は当然喜ばれるだろうと思ったが、北朝鮮の親類は喜ぶどころか「こんなに米をたくさん持って来てどうする。この米を一体どうやって自分の町まで持つて行くんだ。持つてくるなら米ではなく、この米を買ったお金がよかったのに」と言われ愕然としたという。双方に言い分があるが、北朝鮮ではインフラが整備されておらず、大量の米を運ぶことは至難の技である。終戦直後の日本で

窓ガラスもなく、リュックサックを背負った人が鉛なりになった超満員の買いし列車があった。今の北朝鮮の各地は、50年前の日本の姿が再現されている。

満々と水をたたえた  
水豊ダム

中国国境を結ぶ橋の大部分は日本時に作られたものである。同じく日本時に作られ今まで健在なものに「水豊ダム」がある。昭和16年に竣工した水豊ダムは堤高が106メートル、堤長が899メートル、貯水量100億m<sup>3</sup>はびわ湖の半分の水量に相当する。朝鮮側を間組、中国側(満州)を西松組が担当し、完成したこのダムは70万キロワットの発電能力を持ち、東洋最大であった。3回目の水

豊ダム見学であったが、今回は地元の人の協力のおかげで、堤の上からダムを見ることが出来た。また、ダムの上にある水豊湖を小舟で遊覧したが、中国側から北朝鮮に行く小舟にはスイカ、魚、ビール、お菓子、酒などが積まれていた。「明日は9月9日の慶祝日なので、今日中に持っていくかなければ」と、船頭さんはうれしそうな顔で話してくれた。そういうえば鶴緑江鉄橋の近くにある丹東海關の近くで、北朝鮮に持っていく献花を売っていたが、大きな花束は中国のお金で150元(約2,500円)であった。

水豊湖で漁業を営む朝鮮族の家で、湖で漁れた魚をごちそうになったが、その時に「水豊ダムがあるおかげで、95、96年の大洪水も助かった。本当にありがたく思っている」という一言が印象的であった。



水豊ダムの左側が中国側、右側は北朝鮮になる



# 躍動する力!

山梨、そして全国へ拡がる  
信頼のネットワーク。  
運ぶに関わるあらゆる業務のご提案。  
お客様の要望にお応えし、  
多彩な物流を創造する  
「甲府通運」の“チカラ”です。

# FOOT



(ユーザー様ご紹介)



ニューロン製薬(株)様



## 甲府通運株式会社

本社 〒409-3845 山梨県中巨摩郡田富町流通団地3329-1  
TEL.0552-73-0611 FAX.0552-73-9332  
田富営業所 〒409-3845 山梨県中巨摩郡田富町流通団地3211-14  
TEL.0552-73-5471 FAX.0552-73-6277  
東京営業所 〒174-0042 東京都板橋区東坂下2-3-10  
TEL.03-3967-6001 FAX.03-3967-6124



(株)甲府コニカ様



## 企業ウォッチング

## 株式会社 武藏

代表取締役

赤池 和水 氏

あか いけ かずみ

### ●株式会社武藏データ●

昭和47年、武藏工業として創業。昭和53年に現・赤池社長が2代目として就任。当社名と社名変更。水晶発振器・発振子を始め、フロッピーヘッドやボーラーネジ、半導体装置の製造及び電子デバイスの開発研究を行う。資本金9,500万円。社員数95名。主な取引先は県内各社他、海外メーカー等、数多い「気迫・信頼・夢」を企業理念に新しい創造企業をめざしている。  
〒405-0002 山梨県山梨市東1688 ☎0553(22)5577



独自の水晶カット技術を開発し、オリジナルブランドの水晶発振子・発振器を創り出すことに成功した株式会社武藏が、将来有望のベンチャー企業として今、注目を集めている。

いかに先取点をとるかで決まる厳しい業界の中で、絶えず新進気鋭を胸に、たけだけしく勇敢に(宮本武蔵のごとく)立ち向かっている企業を、紹介したい。

### 単なる継承やダウンサイズではダメ

安定した周波数を生じるため、クオーツ時計などに利用されてきた水晶発振器が今、ノートパソコンや携帯電話、デジタルビデオカメラなどの重要な電子部品として採用されている。メーカーが競ってそれら最新機器の小型化・軽量化を図る中で、薄くて小さい水晶発振器は、喉から手が出るほど欲しいものだろう。

株式会社武蔵はその願いを見事に叶えた、注目の企業である。「開発研究は4、5年前から行っていたんですが、昨年の10月に、初めて自社のオリジナルブランドとなりました」と赤池社長。

「開発室には博士号を持つ者など7、8名おりますし、新工場には恐らく、日本一あるいは世界一にも匹敵するような設備が整っています」多額な設備投資をしているという今回のプロジェクト、その規模からいっても水晶

製品への大きな期待が伺える。「でも単なるそれまでの継承やダウンサイズだけではダメだと思うんです。僕らは大手さんと勝負なんですよ。何で勝負かというと、技術的には必ず追いつかれるものですから、やはり最終的にはプラスコスト、ということですね」

### 自分の力だけではとても出来なかった

そういう意味では、技術や製法も違うために、大手の電子部品メーカーよりも2、3割は安くできるという。「サイズ的に持っていない会社も非常に多いですから、ある面ではOEM (Original equipment manufacturing の略、相手先商標製品)という部分もありますしね。OEMをとって信頼を得るのも、業界に対するひとつの挨拶というふうに考えています。」社長の才氣と優秀なスタッフに恵まれて、専門業界でもひとあし抜きんでた株式会社武蔵。「特許もすでに取得していますが、申請が通ればすぐにもう4、5件は出てくる」そうだ。一方ではまた、県が主体となって本年度から推進している産学官のベンチャー支援でも、東京工業大学と共同で研究開発を行い、次世代の製品化を始めているという。目まぐるしい変化をみせ、しのぎを削る電子機器業界を相手にするのは容易なことではない。しかしそこには、自分たちがこの手で先進機器の心臓部を創り出している、というかけがえのない自信や喜びがあるのではないのだろうか。

4人家族で、休みはほとんど移動日と話す赤池社長。たまにプライベートでゴルフをしたり、犬と遊んだりするのが楽しみという。お酒はかなり強いらしい。「僕らも自分一人の力じゃ、とてもこんなことは出来なかったですよ」という謙虚な一言に、リーダーに相応しい度量を感じた。

# 山梨県猛禽類研究会

“猛禽類”を通じて  
移りゆく自然を解明する  
山梨の有志たち

## 我々が頑張って 何とか知見を得られたら

昔より自然が少なくなった、というの  
はよく聞く言葉だ。しかし、それなら実  
際、何がどのくらい減ったのか、どんな  
原因で減少しているのか、となるとハッ  
キリしたことは答えられない。「そういう  
ものを科学的にアカデミックに、誰にで  
もわかるようにするには数字が大事だ  
と思いまして」と青木さん。「中でも猛禽  
類は山地の生態系のトップに位置し、最も  
指標となる動物なので、焦点を当て  
ることにしたんです」。青木さんの呼び

かけで集まった有志たちが、イヌワシ・  
クマタカ・フクロウの生態解明に乗り出  
したのは今から13年前。実はこの3種  
は調査が非常に難しく、それまでほとん  
ど実態も知られていなかったが「我々  
アマチュアが頑張って、何とかして新し  
い知見を得られたら」という強い願望が  
実を結んだ。

「クマタカは現在75のつがいがいて、  
全国的にも生息密度は高いんですが、  
イヌワシは6つがいから2つがいに減っ  
て、やはり急激な減少傾向にあります  
ね」と青木さん。

## 猛禽類のために ひいては私たちのために

15キロメートル四方に散らばり、無線



「イヌワシが頭上に来ると、たたみ一巻が飛んでいるよう」と青木さん

で連絡を取り合っての調査も、険しいフ  
ィールドゆえに並大抵の気力＆体力で  
は続かないはず。そんな彼らを支えて  
いるのは、長い観測の末のドラマチック  
な猛禽類との出会いや、生命を育む自  
然への飽くなき探究心・愛護心ではな  
かろうか。いや、使命感といったものか  
もしれない。「生息場所さえ分からなか  
った頃、初めてフクロウの巣を発見した  
時は感動しました」と話す青木さん。

翼を広げ空に舞うトビやタカを見かけ  
たら、巷に流行るブームとは無縁に、  
ただひたすら猛禽類の調査に休日を捧  
げる人たちがいることを、時々思い出して  
ほしい。

【取材：原田陽子】

**[猛禽類]**タカ目とフクロウ目の鳥の総称。他の鳥  
類や小動物を捕食し、上嘴は湾曲して鋭  
く、翼は強大で、飛行は迅速、脚に鋭い  
鉤爪がある。ワシ・タカ・トビ・コンド  
ル・フクロウなど。(広辞苑)



トラフズク



アオバスク

## ◆山梨県猛禽類研究会◆

1985年(昭和60年)発足。“猛禽類の生態、分  
布、推移”的調査&研究を目的に、全国の同系グ  
ループと連携をとりつつ、ほぼ毎週活動してい  
る。会員は現在12名。平均年齢は30代後半。  
活動領域は県内全域と山梨のまたがる隣県に及  
ぶ。海外の報告会にも参加。入会希望者は歓迎。  
代表 青木 進  
連絡先 〒400-0862 甲府市朝氣1-5-19  
0562(22)0717

# 21世紀の街づくりへの胎動 Part3

## ～商店街の今後の戦略～

青木茂樹

山梨学院大学商学部専任講師

### 商店街タイプと事業種類

	最寄り型商店街	買い物型商店街
ソフト事業	スタンプ 販促型イベント 店舗え	クレジット・顧客管理 集客型イベント 店舗え
ハード事業	コミュニティーセンター	町並み整備 駐車場 コミュニティーセンター

出所：石原武政・石井洋蔵「街づくりのマーケティング」 日本経済新聞社、1992年。

### ●岐路に立たされた商店街

大規模小売店舗法の廃止、大規模小  
売店舗立地法の施行によって、大規模小  
売店舗に対する規制は、店舗面積や  
休日日数、営業時間などの調整を通じ  
た経済的規制から、環境、交通渋滞、ご  
み対策などの社会的規制へと変化しま  
す。この立地法がどう運営されるかは  
不透明ですが、これにより、おそらく中  
心市街地における商店街はより厳しい  
環境を迎えることとなります。

さらに、今後、中小小売業の経営問  
題を難しくさせるものに、中小卸売業の  
統廃合があります。今まで、日本の  
小売業のチェーン・オペレーションは出  
店店舗数を増やすことに眼が向けられ  
、仕入れは既存の卸売に依存してき  
た経緯があります。これにより、中小の  
卸売業が残り、結果としてこれが中小  
の小売業を支えてきたのです。しかし、  
今日、米国流に卸の合理化が進められ  
、中小の卸売業の統廃合が進んでおり、  
中小小売業は仕入れルートを模索す  
る必要性も出てきています。

商店街には、外の問題と内の問題が  
あり、実際、後継者難による空洞化、創  
業経営者と二代目経営者との商工会

における軋轢、地権者と経営者との利害  
衝突などの内の問題  
が大きく響き、商店街の改革の足並みを揃  
えることが今まで非常に困難となっ  
きました。

前回お話ししたように、一方で  
大型小売業は他の業種、業態と手を組  
みながら、より魅力度の高い商業集積  
地を形成し、ネットワークの強みを發揮  
し始めています。こうした外の問題が  
本当に無視できなくなった時期に、内  
なる問題に囚われたままでは、競争に  
生き残ることは難しいことでしょう。

### ●商店街の方策

今、商店街に必要なことは、タウン・  
マネジメントを戦略的に構築し、これに  
個々の商業者が一丸となって協力して  
いく姿勢でしょう。凡そ、商店街では、  
表に示したような事業が行われてきた  
と思います。この際に必要なことは、商  
店街やその街に存在する資源を列挙  
し、そこでの連携を強めることです(内  
部資源分析)。例えば、倉敷は、瀬戸内  
の海運で発展した街ですが、古い街並  
み、著名な西洋絵画を収集している大  
原美術館、クラボウの工場跡などをう

まく融合させて、魅力的な観光地、商  
業地を形成しています。さらに、毎日ボ  
ランティアの方が街に出て、観光案内  
をしており、その郷土愛には驚かされ  
るものでした。

また、他の商業集積地にはない差別  
化されたコンセプト(外部環境分析)を  
掲げることも必要です。スーパーが整  
然としたセルフ・サービスならば、商店  
街では対面販売を中心にワイワイガヤ  
ガヤとやってみることなのです。例え  
ば、永六輔さんが成田でやっているこ  
とは、商売の基本は露天商だと考え、  
店の外へ皆出て声を掛け合うことで  
す。郊外スーパーがファミリーをターゲ  
ットにするならば、商店街は、若者、高  
齢者をターゲットにしてみるべきでしょ  
う。スーパーが目的購買、モノ消費な  
ら、商店街は、非目的購買、すなわち  
回遊性を高めた時間消費、コト消費に  
力を注ぐべきでしょう。

やはり、笑人、商人の復活に活路が  
あるようです。

## 早野グループ4社から 一番ホットな情報を届けします

### '98秋の大トヨタ祭

#### ◆トヨタホーム建築資金1,000万円プレゼント

##### 「ハートフルキャンペーン」

トヨタホームでは全国で10名様に抽選で、トヨタホームの建築資金1,000万円(値引券)をプレゼント申込等については下記の通りです。マイホーム実現のチャンスです。是非、お申し込み下さい。

- ・申込期間 平成10年10月3日(土)  
～10月23日(金)
- ・結果発表 平成10年11月上旬
- ・契約期間 平成10年12月末迄
- ・据付期間 平成11年3月末迄

尚、ハートフルキャンペーンにお申し込みいただき、希望される方全員に無料で敷地調査を実施させて頂きます。

#### ◆いっぺん見太郎会

全国統一の現場見学会を平成10年11月7・8日(土・日)の両日実施致します。トヨタホームのすべてを是非、ご自身の目でお確かめ下さい。

上記キャンペーン及びイベントについての詳細は、下記トヨタホームまでお問い合わせ下さい。

トヨタホーム山梨(株)  
本社：中巨摩郡昭和町河西1043 TEL0552-75-1234 FAX0552-75-7806

### 事業用自動車のスピード違反行為に対し行政処分強化

道路交通法の一部改正で使用者責任が強化されましたが、依然として事業用自動車の大幅な最高速度違反行為が重大事故の発生に関与しています。そこで運輸省は、平成10年7月1日から運行の安全を確保し重大事故の発生を防止する観点から、最高速度違反行為に対する行政処分等の基準を強化し使用者責任が一層厳しくなりました。

#### 【処分等の概要】

- (1)文書警告 同一営業所において、最高速度違反行為が1年間で3件に達した場合。
- (2)車両停止処分 文書警告後3年内に最高速度違反が繰り返し行われた場合。

#### 【車両停止処分の基準】

- (1)違反件数は、同一営業所において過去1年間の最高速度違反件数が10件に達した場合。(同一営業所に100台以上の事業用自動車が配置されているときは、その配置車両の10%に相当する件数)
- (2)大幅な制限速度違反は、同一営業所において超過速度30km/h以上の違反件数が、過去1年間で5件に達した場合。(同一営業所に100台以上の事業用自動車が配置されているときは、その配置車両の5%に相当する件数)
- (3)最大積載量5トン以上または車両総重量8トン以上の大型車の場合、1つの最高速度違反行為を1.5件とカウントする。

#### 【車両停止処分の内容】

最高速度違反による車両停止処分は初回で20日車、処分を受け3年内に違反行為を繰り返し、処分を受けた場合2回目は60日車、3回目以上は180日車の車両停止処分が課せられる。

甲府通運(株)  
本社：中巨摩郡田富町流通園3329-1 TEL0552-73-0611

### リニューアルのご提案

建物は使用開始とともに老朽化が始まります。最新だった建物も時とともに取り残されていき、資産価値を低下させていきます。

今、多くの建物が時代に合わせリニューアルの時を迎えています。「建物の老化防止、機能回復に加え不可価値を高める。」早野組ではこれらのニーズを取り入れ、新たな価値を持つ建物を構築することを提案します。

#### リニューアルの種類

- 1.構造躯体のリニューアル
- 2.屋根のリニューアル
- 3.外壁のリニューアル
- 4.内装のリニューアル
- 5.設備のリニューアル

#### キッチンのリニューアル例



\*リニューアル室(直通) 0552-32-0200

(株)早野組  
本社：甲府市東光寺1-4-10 TEL0552-35-1111

### 新型クレスタ誕生!

ファン待望の究極のプレステージセダン・クレスタが高級車としての存在感をさらにアップしました。

高級車としてのエクステリア・インテリア・基本性能・安全性・快適性など、その全てに磨きをかけた新型クレスタ。これまでにない大型の商品強化の実施により、究極のプレステージセダン・クレスタは、風格・存在感とともに、その魅力を大きくグレードアップ。まさにファンが待望した新型車の誕生です。

#### ○新型クレスタの魅力アップのポイント

- POINT1 より風格・存在感を増したエクステリア!
- POINT2 走りと経済性を両立する2.0エンジンのVVT-i化!
- POINT3 人気を集める2.0系のラインナップ拡充!
- POINT4 高級車にふさわしいインテリアの質感アップ!
- POINT5 新技術の投入によりさらに安全性を追求!
- POINT6 グランドツーリング、ルーフ、スポーティー感のさらなる強調!

お近くのピスタ店で、クレスタの魅力を体感して下さい。



トヨタピスタ山梨(株)  
本社：甲府市朝氣3丁目10-21 TEL0552-32-5511

相馬御風は『早稲田文学』に  
「一葉は旧き日本の最後の女であった  
彼女はまた最後の江戸の女であった…」と書いている  
さて その真相は?

## 樋口一葉

(ひぐち いちょう)

男性ばかりではなく、女性も採り上げてほしいという要望があったので、これからしばらく甲斐にゆかりの女性を記録していってみよう。冒頭に紹介するのは樋口一葉である。荒々しい戦国史で何冊も本を書いている私が、「一葉さんを…」などといえば、眉唾と首をかしげる御仁もいるかもしれない。けれども一葉研究は作家でもある私にとって、青春の思い出の一つである。

写真にかけた一葉六十回忌の通知のように、今は亡き人々ばかりであるが、昭和30年11月帝国ホテルで回向が行われ、私は幸田露伴の娘幸田文さんと席を並べて、一葉姉妹のことを楽しく語り合った。おそらく山梨文学館でもこうした事実は知らないだろうけれども、昭和29年11月、東京の文学界でも聞くことのできなかった「樋口一葉展」を、甲府の県立図書館で初めて公開したのも私である。

戦後のこと、資料運搬の自動車さえない時代であった。その貴重資料を梱包して4人の図書館員に持つてもらい、夜汽車で甲府まで帰った。私自身も梱包した一葉女史の文机を膝の上にのせ、その上に紙片を置いて、ペンを走らせて「山」という題のNHK甲府のラジオ

ドラマを書き続けていた。「文化人」という雑誌の一葉女史の座談会費用を捻出するためであった。名作「たけくらべ」や「にごりえ」を創り出した文机。梱包してあるから直接ではないまでも、そんな意義深い文机を使わせてもらったのは、天にも地にも私一人だけであろう。私が一葉女史に強く惹かれたようになったの



樋口一葉女史のおもかげ

は、両親の故郷、塙山市中萩原の益田勝俊氏や、一葉資料を保存する田中幸夫氏とことのほか親しくなり、一葉の祖父八左衛門が水騒動で投獄されたり、父大吉(後の則義)が出京して八丁堀の同心になるまでの、駆落から出奔までの詫状や望郷の想いを綴った日記などを

### 上野 晴朗

うえの はるお

1923年山梨市生まれ。歴史家・作家。県立図書館郷土資料室を経て67年から文筆活動に入る。著書に『甲斐武田氏』等多数

整理したときからであった。

一葉日記に顔を出す雨宮ぶん(当時は広瀬)さんがまだ生きていて、玉宮村を訪問して遠い昔話を聞くことができた。一葉女史より8歳年長、昭和25年に95歳だった。「奈津(一葉の本名)ちゃんは良いお嬢もんだった…」と語ってくれたが、樋口家に厄介になり、男遍歴があって、一葉家にだいぶ迷惑をかけたらし、郷里山梨の生きい息吹を伝えた象徴的女性だった。

当時私は一葉研究に夢中になってしまい、昭和28年10月、山梨県庁書庫の新聞の山の中から、その玉宮村出身の野尻理作が経営する「甲陽新報」に載った、一葉女史の「経機」(1892年)の初稿を発見したのも思い出深いものがある。しかもペンネームが一葉ではなく「春日野しか子」、さらに興味深かったのは、男性主人公が波崎学士となっていて、一葉女史が正式にのちに発表した「文芸俱楽部」では松島忠雄となっている点である。

さらに興味深いのは、そのあと発表した小説「やみ夜」(1894年)の主人公が波崎代議士となっている点である。一葉日記を辿ると、明治24年11月の項に、「…突然に田辺有栄氏にとはる。狼狽の

文豪たちが名を連ねる一葉60回忌の通知状  
発行人は今はすべて故人である

一葉女史が身につけた重ねの下着と櫛・かんざし・笄・模がけ・紅いれなど



塙山市重郎原にある樋口家の墓地と墓

塙山市慈雲寺にある  
樋口一葉女史の記念碑

事、意味有氣なる物語の事、同氏帰宅」とあって、明治の第一回の総選挙に岐阜から選ばれて当選した田辺有栄が、わざわざ樋口家を訪れている点興味深い。

一葉女史の父則義がどこまで政治にかかわっていたか明らかではないが、ただ注目すべきは「やみ夜」の波崎代議士が暴漢に襲われるくだりがあり、その箇所がなんと山梨県の代議士葉袋義一事件をモデルにしているのである。事件の様相を当時の山梨日日新聞の記事から見ると、「一名の社士後より追迫り…」とあって、明治25年11月の国会登院の途上、葉袋は暴漢に襲撃され負傷しているのである。

一葉女史はおそらく送られてくる甲陽新報の記事からそのヒントを得たのである。「やみ夜」のそのくだりは

「…ほどを隔て、冬のはじめつ方、事は番町の波崎が本宅前に起りぬ。なにがしの大会に幹事の任を帯びて席上演説に喝采わくようなる中を終れば、醉のまぎれの車上ゆるゆると半ば夢をのせて帰り来りし表門の前、忽ち物かけより跳り出たる男の母衣に手をかけて後さまにと引けば、たまらず覆る処を取って押へて首筋かかんとひらめかす白刃のさりとは純かりしか、頬先少しかすりて、

薄手の疵は狼藉の呼声あたりに高く、今はこれまでとや逃足何方に向ひしか、たちまち霞とかげを消して誰れともわからずなりける…」とあって、日陰者の直次郎が意氣地のない遣りそこねから、どことも行方が判らなくなる處で小説は終わっている。

それにしてもこのように、山梨政界に名をとどろかした葉袋が一葉文学に登場し、さらに日記には田辺有栄が名をとどめるなど、從来一葉文学には「ゆく雲」がわずかに父母の故郷を題材にしているだけという評価など問題ではないのである。

一体にこの創作活動の「経つくえ」「やみ夜」と続く二人同姓の波崎問題をどう絞って評価したら好いのか。小説家の気持としてはその日記に、「…文明開化か、百鬼夜行か、筆心にしたがはゞ材料は山ともいへし」という表現の中によく渾んでいるけれども、その百鬼夜行の象徴を政治権力をにぎる人物に置きかえてモデル化しているところが重大であると思う。私は日記を分析して、その背景に樋口家と深い関係をもち、一旦は夏子と婚約まであった瀧谷三郎(阪本)の面影が強い影響を与えたと見ている。瀧谷三郎は樋口大吉が厄介になり目

をかけられた真下咲枝の妻腹の孫、當時瀧谷は越後の国で検事をしていた。大隈重信に取り入って外国留学がない、政治生活に入っていた、後には短命ではあったが山梨県知事にもなった人である。困窮生活におちた樋口家を見限り、自分の権勢や榮達のために一葉を見捨て苦しめて、世渡りの巧みさを見せる瀧谷三郎の面影の中に、私は「やみ夜」の波崎を見る思いがするのである。

小説の中の女性のモデルは、もちろん一葉女史自身である。だから二人同姓の波崎は父母に死別した寄辺のない娘が、父に関係をもった青年に、「経つくえ」では一応温かく見守られ、「やみ夜」では冷たく見捨てられていくといった筋立てになっているのである。そこから匂ってくる女性史は、「経つくえ」のお園も、「閑桜」のお千代も、「たま隠」の糸子も、同一の柵に生き、死か、さもなくば屍のような生活に甘んじて、優しく美しく、つましく生きていけれども、しかし相馬御風がいう「日本の最後の女性」ではなく、小説の読後感からいえば、そこから針を刺すような文明開化の女性の心の叫びが聞こえてくるように思う。

# ボクの美術品観察日記11

## ラファエロの時代の風景

山本 育夫

やまとと いくお  
ミュージアム・マガジンDOME（ドーム）／美術品観察AW  
(エイ・ダブリュ)／美術批評・展覧会批評誌LR (エル・アール) 編集長。週刊朝日に展覧会批評連載中

### 二枚の肖像画

この二枚の風景画をじっくりと見ていただきたい。(図版1、図版2)一枚のほうには、丘下がりの丘の上、遠くに見える建物や山並み、そのはるか上方には雄大なひとかたまりの雲、などが描かれている。

もう一枚のほうには、森の木立と、丘の上に建っている家。一際背の高い木々の葉が風に震えている。いずれもひとけのない明るい陽射しの中に照らし出されているかのような光景である。

実はこの二枚の風景、次に掲げる二枚の肖像画の背景に描かれている風景である。肖像画に描かれている男性は「アニューロ・ドーニ」さんといい、女性のほうは「マッダレーナ・ドーニ」さんという。つまり、ドーニ夫妻の肖像画なのである。

描いた人は、ラファエロ・サンティオ。ルネサンスの三大巨匠、レオナルド・ダ・ヴィンチ、ミケランジェロ、そして、ラファエロ、のラファエロさんなのである。

ラファエロがフィレンツェにやってきたころ、ちょうどレオナルド・ダ・ヴィンチが「モナ・リザ」を描いたころ。ラファエロ

の肖像画は、明らかに「モナ・リザ」の影響がみてとれる。僕だってモナ・リザくらいの絵は描けるんだと、若いラファエロがダ・ヴィンチに挑んだと考えてみるのも一興。二枚の肖像画は対になっており、ラファエロのパトロン(芸術家の経済的な援助者)でもあったドーニ夫妻の結婚を記念して、ラファエロが描いたものであるという。

### 背景に描かれた風景画

では、その本家本元のダ・ヴィンチの「モナ・リザ」を見てみよう。

「モナ・リザ」の背景に描かれている「風景」をアップして見ると、こんな感じになる。(図版3)こちらは東洋の山水画の趣もあり、蛇行する川や風景のありようが、実に神妙的な装いを醸し出している。

同時代のラファエロとダ・ヴィンチが選んだ背景のささやかな風景も、芸術家によってさまざまであることがわかる。これらの風景画、実際に同時代の風景を反映しているのかどうかは、わからない。わからないが、ラファエロのそれなら、ありそうな光景だ。いかにも、フィレンツェの自然を映しているように見える。

これらの風景が、かなり高い位置から

俯瞰したように描かれていることにも注目したい。つまり、モデルたちは、お城のベランダかなんかに腰掛けてポーズしていることになっている。本当にそこでポーズしたのかどうかはわからないが、そんな感じだ。外界を渡る心地よい風に吹かれながら、モデルをしたのであろうか。

ところで、注意深い読者の中には、「モナ・リザ」の図版を見て、???と思われた方もおられるかもしれない。あなたは、たいへんな、目利きである。実は、この「モナ・リザ」、ダ・ヴィンチのものではないのである。

よくご覧いただきたい。この作品は、現代美術家である森村泰昌さんが、「モナ・リザ」の絵の中に自分自身を取り込ませた作品なのである。顔も手も森村さんのものだ。

森村さんはこんなふうに、世界の名画という名画に潜り込んで、ちゃっかり自分の顔や体を「本物」とすげ替えてしまうという作品をつくりつづけて人気者となった作家である。最近、東京都現代美術館でも大個展を開催したばかり。四十代の作家が、こうした美術館で生きているうちに個展を開けるというのはすごいことなのである。



図版1



「アニューロ・ドーニ」ラファエロ・サンティオ



「マッダレーナ・ドーニ」ラファエロ・サンティオ



図版3



図版2

ファインダーの向こうに何が見える?  
すべては「あなた」の捉え方  
カメラは「あなた」を写し出す



今、カメラがにぎわいを見せている。小型化が売りのAPSは発売当初こそ、パッとしなかったが、最近は着実に普及しつつあるし、レンズ付きフィルム(使い捨てカメラのこと)はデザインがファッショナブルなことと、日々の気分に合わせて選べるほど豊富になった。ラボは普通のプリント用フィルムならかなりスピードアップしたし、写真もカラー以外にモノクロやセピアで楽しめるようになった。写真に関するハウツー本も一挙に出版され、初心者向けの通信講座も次々と開設されている。自治体では観光を振興する意味でフォトコンテストも盛んに行われているようだ。

そこで流行云々というより、カメラを、写真を、ちょっと見直してみでは…?

### 後はもう その人のセンス

ブームの火付け役となったのはやはり、APS。キャノン、ニコン、ミノルタ、コダック、富士写真フィルムの5社によって共同開発されたこの新しい写真システム(Advanced Photo System)が登場したのは、96年4月のこと。

従来のフィルムより一回り小さい24mmフィルムが、カメラ本体を小型で軽量にすることに成功したのだ。しかも、フィルムの装填が簡単で、プリントサイズを3種類から選べること、パソコンやテレビの画面にも写真を映し出せることなど、メリット

も多い。

現在発売されているAPSカメラの中で、人気の高いものと言えば、キャノンXY330、フジのティアラix、ミノルタのベクティス300、京セラのコンタックスTixに、ペンタックスのESPIO140Mあたりかな…。でも、カメラはAPSだけじゃない。一眼レフの方が、プロっぽくてカッコイイという人もいるだろうし、撮ることよりもメカに魅力を感じる人なら、クラシックカメラや中古カメラを選ぶだろう。デジカメでなければ、という人っているだろうし、撮った写真をその場で見れるインスタントカメラは、他にはない便利さや手軽さがある。

カタチも性能も多種多様。だからやっぱり、どこかのCMじゃないけれど「後はもう、その人のセンス…」になっちゃうんだろうね。



### アングルは ひとつじゃない

じゃ、センスって何だろう。いろいろあるカメラを用途別に使い分けるとい

のも一つのセンスかもしれない。APSを含むコンパクトカメラに関していえば、AF(Auto Focus)機能をはじめ、ストロボやズーム機能などが付いている。カメラが撮る人の腕をフォローしてくれるようになったからこそ、それらの機能をどれだけ充分に生かせるかというのも一つのセンスに違いない。

それでもう一つ、いちばん重要なのは、何を撮るか、ではないだろうか。問題は被写体を見つめる目。一枚の写真を通して何を訴えたいのか。自分はそこにどんなメッセージを託したいのか。ただ、同じものを見ても、皆が同じように感じるとは限らないから、最終的には自分の目を信じるしかないのだけれど。単なる自己満足で終わるよりも、出来るだけ多くの人々とそこに写る驚きや喜びを共有し合えれば、もっと世界が広がっていくんじゃないかと思う。そう、「あなた」の視点と「私」の視線とを結びつけてゆけるならば…。

たとえば、NASAに勤めている人がいつも宇宙から地球を眺めているとすれば、産婦人科の先生は毎日、子宮を見ている。チキュウとシキュウ、ちょっと似ているけど全然違う。でもよくよく考えてみれば、そこには「我々の生命」という共通の存在、共通の対象(いわば、被写体)があるんだよね。

ファインダーの向こうに何を見るかも、つまりは「あなた」次第。そのときはアングルがひとつじゃないこともお忘れなく。

### こんなところに山梨 思いがけない場面で ふるさと再発見

山梨は観光県であり、いわば「おもてなし」の県である。したがって山梨を訪れる人たちの顔色をうかがっては、その反応に一喜一憂する。果物がうまいと聞くと大いにうなずき、そなんだ、山梨はフルーツ大国なんだと氣を良くし、また、寿司屋は多いが魚はいまひとつだと聞くと、それはそうだ山梨には海がないからなど、さつき食った寿司をうまいと感じたことを恥ずかしく思ったりする。

江戸の頃の山梨はさて、他国の人たちにどう見られていたのか。甲府城を守護する役を甲府勤番といい、当時甲府には旗本小普請組のおよそ二百人が在住していた。いずれも江戸で身持ちのよくないうものが選ばれ、送り出された。いわゆる左遷であり、島流しである。どんな旗本の暮れん坊でも、甲府勤番と聞くと震え

あがったという。甲府勤番には、山並みは絶海の荒波に見え、四方の山は脱出できない高い壁に見えたという。甲府勤番はヤケ酒をのみ、町人をいじめるしか腹立たしさをまぎらわせる方法がなかったようだ。

### 信玄の隠し金山を 探し当てた甲府勤番と、 武田家滅亡後も 先祖代々鉱山を守り続けてきた 番衆たちのワナとくらみ

松本清張の「甲府在番」は、こうした甲府勤番の若者が主人公である。それにしても山梨の読者は、推理小説を楽しく読むことの前に、これだけ山梨をコケにされると、何とも言いがたい気分に落ち込んでしまう。甲府勤番のなかには耐え切れず腹を切ったものもある、などという記述に出会うと、ちょっと待ってくれよ、情けないのはこっちだよと、深々とため息が出てしま

う。小説は、絵図面係の甲府勤番が、山梨各地を歩いて調査しているうち、謎の死を遂げることからはじまる。下部の山中で金山を発見したことがその謎を解く鍵である。甲府勤番のなかには、江戸から馴染みの女が訪ねてきたのを機に、武士を捨てて一緒に逃げたものもあったという。金山を探し当てた絵図面係にも、なにかしらの野望があったと想像できる。

金山には、しかし、武田家滅亡後も先祖の意志を継ぎ、鉱山を守り続ける番衆がいた。世の中が変わっても、あくまでも武田の遺臣として信玄公にお仕えしているのだという誂りがある。金山を見つけたものは決して山から返さない、ましてや、徳川家には断じて渡すものかという怨念さえある。希望のない甲府勤番が金山を発見し、金に馳せた夢と、厳しい山奥で昔ながらに生き続ける番衆の誂りとの対比が、ひとつの読みごたえである。それにしてもこの山梨への偏見も、ぜひ推理してみなくてはならない謎である。(石)

参考資料: 松本清張「甲府在番」

## Book

### 楽しい漢詩・漢文の授業 「中学・高校で教材にできる中国民話」

内藤利信 著



中学の「漢詩・漢文」の授業は、漢字や訓読の抵抗感があり、通訳するのが精いっぱいあり、いわゆる文学の楽しさを味わうところまではいかない。なんとか「生き生きとした人間の見えてくるような授業はできないものか」というのが、この本に託した著者の願いである。

著者は、葬儀の生まれで、高校の国語教師、県立文学館の主幹課長などを経た国語教育のベテラン。教壇に立ちつつ、「漢詩・漢文」のあり方を模索し、ときに苛立ちもおぼえてきた。作中人物たが動き出し、囁き、喜び、笑うといった、なま身の個性を伝えるのにはどうしたらよいか、なにやらセピア色の静止画像のような、印象

の薄いままで終わってしまう授業をどうしたらよいのか、という問い合わせである。

この問い合わせには、自らが教材を作るしかなかった。李白、杜甫、白居易ら、大詩人の民話はじめ、美女列伝や、諸葛孔明、張飛ら英雄の民話、そして庶民の夢や悲喜こもごもな民話と、波瀬万丈な中国民話110話が収録されている。文学として魅力があるばかりでなく、なんといっても「漢詩・漢文」の教育のあり方に示唆を与えるところに貴重さがある。

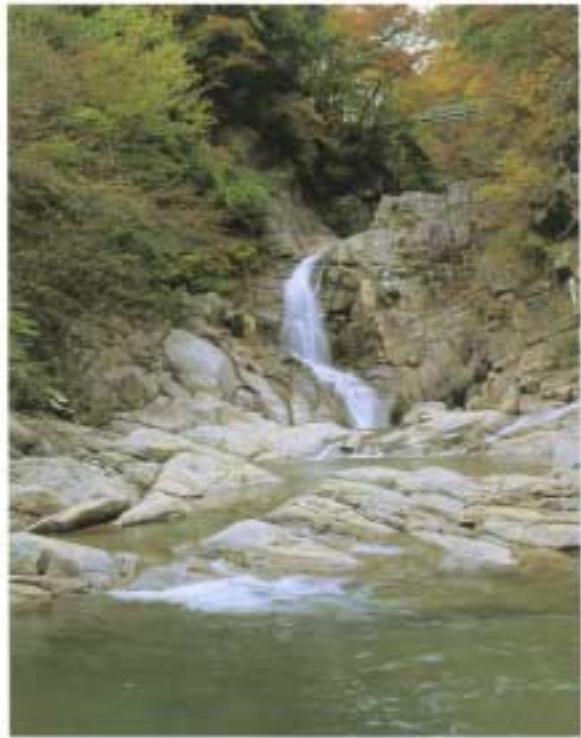
現代の中国人が古典をどう語り継ぎ、評価しているのかも知ることができる。(川)

ぎょうせい ¥1,800 (本体)

# 滝を見るハイキング

## vol.7 日川渓谷 竜門の滝

写真と文 上野 嶽



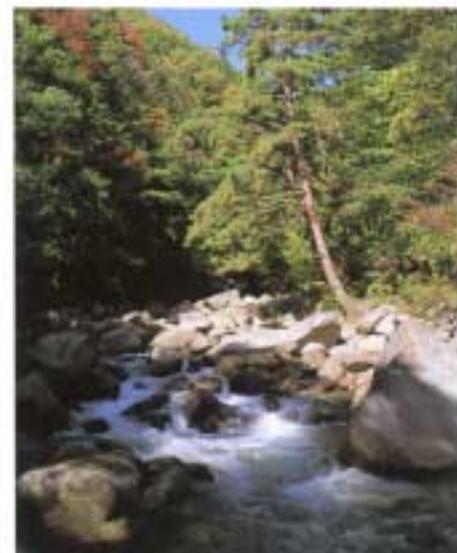
竜門の滝は、上で取水しているため通常は水が少ない



入口の石碑には竜が彫られている



焼山沢出合付近で見上げる山腹の紅葉



秋の開ざしを受けて流れる渓流は澄みきっている

大菩薩連嶺西面の水を集めて流れる日川は、上流が比較的おだやかな流れであるのに対し、大和村地内に入つてから俄かに急峻になって、両岸が断崖絶壁の深い渓谷を形づくる。その一部が竜門峠と呼ばれ、約2.1kmに歩道がつけられて恰好のミニハイクコースとなっている。コース中には竜門の滝を始め、いくつかの滝があって楽しめる。

盆地から国道20号を笛子トンネル方面を目指す。大和村役場を右に見送り、間もない左の県道に入れば田野橋を渡って景德院下の広い駐車場だ。竜門峠入り口の駐車場は狭い。

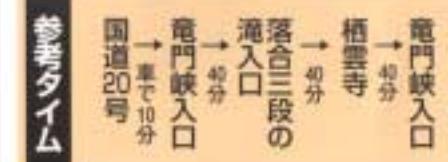
竜門橋を渡って対岸に移り、左へ50mほどでコース入り口となる。大きなホウノキのあるところに竜門の滝の表示札があり、東電の巡回路の階段で降りられ

る。広い川床の上に落ちる「竜門の滝」は、すぐ上で取水してしまうため、比較的水量が少なくて残念だ。

コースに戻って進むと、取水場と巡視小屋がある。巡回路から山道に入る。渓谷が東北に向きを変えるため、渓谷の極まりといった感じで天目集落の一部が見える。かなりの高度差だ。水量はぐっと増し、本来の日川渓谷の流れになつて水音が渓谷にひびく。

やがて川床におりる。焼山沢の出合付近は、広い川床に巨岩が重なり合っている。焼山沢落口にある落合三つの滝は、いずれもナメ滝だ。出合いのすぐ

上が天鼓林(又は太鼓林)。踏みしめれば太鼓のような音がする。スギ林を抜けて木橋を渡り、左岸へ移ると休憩舎。ここで渓谷沿いに進むコースと、天目集落



## 甲府通運前史を訪ねる(10)

(甲府通運のページ)

### 創業の早野家は相模国 早野家のルーツを尋ねる

林 陽一郎

はやし よういちろう  
山梨県教育委員会・歴史編纂文化財担当



地名大辞典神奈川県によると、下中村は明治22年～昭和30年までの自治体名で大磯丘陵南西部の台地にあり、地内に押切川が流れ、小船・中村原・上町・沼代・小竹村の5カ村と2ヶ所の飛地が合併して成立、小船に役場があり、明治24年の戸数380、男1,343人・女1,272人となっている。

相模湾東海道沿いの温暖な土地を早野家は住居地と定めた。さらに檀那寺は金剛山普濟寺と号する曹洞宗の寺院で、墓地には昭和11年に早野欽介が建立した「早野宗家系譜碑」の石碑が現存している。(以下続)

に国の歴史があり、会社にはその会社の歴史が存在する。そしてそれを組織している人にはそれぞれのその家の歴史がある。甲府通運株式会社のあゆみをひもとき過去をたどっているうちに、創業者早野金蔵の逸話が昭和10年9月に大手大衆月刊誌キングに「情けの三円」と題して書かれているのを知り、これを本誌にも紹介したが、その文中に「当時の早野といへば下中村切っての資産家だった」の記述があり、早野家の歴史をたどり、昨今ブームとなっている「わが家のルーツをさぐる」ではないが、会社の社風はその社の代表の人となりを反映するともいわれているので、創業家の歴史を関係者が語り、会社のさらなる発展の糧としてもらうのも良いと思う。

一般にその家の歴史を調べるにはその家のお寺を調べるのが第一歩である。神道やキリスト教の場合を除き、わが国では仏教徒が大部分をしめているので、お寺と一般人との関係は深いものである。戦国時代を過ぎ徳川家康が天下を統一して世の中が落ち着いて来ると、新しく我国に入って来たキリスト教を禁止し、住民は神教と仏教を信仰する様にし、人々は原則として神社や寺

院に属すこととなる。こうして神社は神主、社家関係、お寺は檀那寺と檀家関係が出来上がる。さらに耶蘇教と呼ばれるキリスト教信者をなくすために村々で「宗門改帳」という村人全員の名前と、その属するお寺の名前を書きあげたものを提出させて、我国の寺を中心とした檀家制度が確立する。また寺院では檀家となった家の歴代の人達の戒名、名前、亡くなった年月日を記録した「過去帳」を備えている。

こんなことから「御先祖さんることはお寺に行って聞け」となるが、お寺の方でこの過去帳が全部保管されているということはまずない。長い年月の間の災害や御住職の移動など、さらには第二次大戦の空襲のために現存しない場合が多い。この様なときには親類の年寄りか土地の古老に聞きだすより方法がない。

早野家の場合には御先祖関係の資料の有無を問合せたところ、家系図をはじめ、お寺の過去帳の写しなどを提示されたので、直接同家の歴史を知ることができたが、これは同家が由緒あるものを物語っている。

早野家の在所は相模国(現神奈川県)足柄下郡下中村で、現在は小田原市となっている。少々堅苦しいが『角川日本

商売を越えた  
長いつきあいに象徴される  
信頼の人間性

## 有限会社 内藤薬品商会



「何ごとも信頼が大事」と内藤社長

「其の人を知らざれば、其の友をみよ」とは、かの孔子の言葉であるが、それはまた商売なら「客層」とも通じるところがあるような気がする。あるいは有名な「類は友を呼ぶ」という諺にも置き換えるられるだろう。今回の取材では、友を中心からたたえる、素晴らしい“其の人”に出会うことが出来た。

お話を伺ったのは、配置販売業を営む内藤薬品商会の社長、内藤忠博さん。300年の伝統をもつ富山の薬をはじめ、奈良や滋賀から薬を仕入れ、一般家庭に置き薬として配置させてもらう仕

事だ。営業エリアは、山梨県全域と長野の諏訪・飯田地区。得意先は何と3000件にも及ぶ。ベテランの従業員2人と手分けして、各家庭を2ヶ月に1度、訪問している。「車は、だいたい2年で10万Kmは走ります」と社長。会社で使用しているトヨタピクタの車は、アリストとターセルだが「メンテナンスのお陰でどこも痛みがない」と話す。アリストの前に乗っていたクレスタは、ピクタ店の営業担当、伊原さんの記念すべき売上げ1台目だったそうだ。「私が12年前に独立して、新規開拓していくお客様の中にたま

たま伊原君の家がありましたね。後になって話をしてみたら、実は伊原さんちの息子さんだとわかったんですよ」以来、二人のつきあいは10年間も続いている。「彼は非常に真面目で頼んだことを確実にやってくれるんです。何かあってもすぐ飛んできてくれますしね。」

「伊原だったら」と、紹介したお客様も多いらしい。厚い信頼を受ける伊原さんは、社長自らが監督を務める内藤薬品ソフトボールクラブにも所属している。どうやらそこには単なる商売上のつきあいでなく、人間どうしの深い絆が受けられるようだ。

内藤薬品商会では山梨で唯一、奈良の由緒ある薬「三光丸」を取り扱っていることや、高齢で独り暮らしのお客様にはヘルパーさんの代わりに必要な物を買っていってあげることなど、社長の人柄は話の節々に伺えるが、何にも増して感心させられたのは、伊原さんとの縁を大切に思う気持ち。そんな社長の人間性を見抜いて、恐らく内藤薬品商会には、いい顧客が集まっているに違いない。どうかこれらもますます繁盛しますように。

〒400-0053 甲府市大里町3731

TEL. 0552-41-9845



事務所前でピクタ竜王店の伊原さんと

県内初の外壁が  
ひときわ引き立ち  
家族の笑顔もまぶしい家

## 込山 武さん宅(甲府市)



大里町でも鎌田川近くの、主要道から脇に入った辺りは一戸建が多い。農耕や養蚕が盛んだった頃から代々続く家々だ。その一角に、広い敷地を生かし、道沿いからの奥行きも充分にとった、重厚な趣きの家がある。それが込山家だ。

今年の8月に完成したばかりのトヨタホーム『メレーゼ・プレミア』自然石の風合いを醸し出す美しい外壁は、ジュエルトップと呼ばれる、世界初の多彩塗装法で創られたもの。山梨では込

山家が初めての採用だという。(過日トヨタ自動車の会長が見に来られたというエピソードもある)全部で約50坪。1階にリビング&ダイニング、和室にバス、トイレが、2階には子供部屋と寝室、ウォークインクローゼットが配されている。

特にこだわったのは、バルコニーとリビングとご主人。「前に住んでいた家は、昔ながらの(蓋を閉じるような中二階の)造りだったので、せひともバルコニー付きの家が欲しかったんですよ。」

子供部屋の前から寝室の前まで続くL字型のバルコニーからは、市川大門の花火がよく見えるそうだ。リビングも6人家族の団欒の場として大切に考えた、という。リビングに余裕があるうえ、和室を6畳2間も設けているのだから、いかに贅沢な間取りかがおわかりいただけだ。フローリングや壁材などは、カタログを見ただけだとよくわからないので、現物をみせてもらったんです」と込山さん。

展示場や工場を訪れ、実際に自分の目で確かめたという。「そういう面では営業の方がとても親切でした。最初から私達の気持ちを真剣に捉えて、素早く対応してくれましたしね。」

話によると最終的にトヨタホームに決定したのも、営業担当者の川口さんの影響が大きいらしい。普段は会社員として働く込山さん。様々な仕事の場面を通して、物や人を見極める力もかなり磨かれているような印象を受けた。

奥様は「新築して日が浅いので、まだ落ち着かない」というが、家族の明るい表情が何よりもその喜びを物語っている込山家。これから徐々に馴染みつつ、どうか皆で幸福感をじっくりと噛み締めていってほしい。



会いたい人から 会いたい人へ  
知りたいことから 知りたいことへ  
リレーでつなぐエッセイ

# 「富士山の見える街」

内藤かおり

ないとう

甲府市教育委員会嘱託職員



初めて甲府に来たのは六年前の冬、県短を受験したときです。それまで、山梨と聞くと梨が特産でとても寒い所というイメージがありました。

長崎から山梨へ来る途中、飛行機から富士山が見えました。

「嗚呼、これが日本一の山、富士山かあ。なんできれいなんだろう。」と母と二人飛行機の中で思わず大きな声を出していました。

甲府駅から南へ平和通りを下り、県庁の前の横断歩道を渡って、西へ10mほど歩きました。そこに宿があったので、荷物を置いて下見に出掛けました。そこから県短まで、県庁の前の道を真っすぐ歩いていきました。

10分から15分程歩いたとき母が、「かおり、ほら見てみんね。」(見てごらん)と言いました。

私は「なんね。」(何?)と振り返りました。

指さすほうを見ると、そこに白く雪を被った富士山がありました。

「ほんと、きれかねえ。」何度も私と母はつぶやきました。

「地面に立って、富士山ば見たと初めてねえ。」(地面に立って、富士山を見たの初めてだね)と言って、しばらく

立っていました。

相川にかかる橋の上で見た富士山。私は再び歩きだしてからも何度も振り返り、富士山を見てました。

何だか、地面を歩いていて少し宙に浮いた感じがしてドキドキしていました。

「私は違う街にいるんだ。」

「住み慣れた街でなく、見知らぬ街にいるんだ。」

受験のことなど忘れて、その驚きと喜びでいっぱいでした。あの時の感動を今でも覚えています。

◇

その後、飯田町に住みました。下宿から県短まで自転車で2分かからないくらい近く、かえって遅刻しそうになりました。その町に住み始めたとき、どこに買い物に行っていいか分からず、トボスまで歩いて買い物に行きました。日用品を買うため、一日二往復した日もありました。

長崎では自転車に乗っている人など、見かけませんでした。そのうち、山梨では自転車で行動すれば楽だとうことがわかり、安売りをしている時に

買いました。

道路など一度も自転車で走ったことがなかったので、車が隣を通ると引き込まれそうになりました。それを見かねた友人が前と後ろについてくれて、大勢で買い物に行きました。

一人で買い物へ行くようになった頃、主要道路ではないところで横断歩道を渡ろうとした時、左折の車がいるのは気づきましたが、当然、歩行者が優先されると思い、ひかれそうになったことが度々ありました。山梨の交通マナーの悪さはよく言われることですが、原付に乗るようになった今も思います。

時々、荒川の土手沿いの道を自転車で走りました。夕方、荒川の橋の上から見る富士山がとてもきれいでした。富士山が見える町に住んだこと、山に囲まれた甲府の街に住んだこと、雄大な自然を目の前にして、心がおだやかになります。

この街に住み4年目、この街をだんだん知るにつれて、好きになっていきます。

富士山の見えるこの街は、私の第二の故郷です。

## ときのひと・FACE

人と結ぶ 地域と結ぶ  
知りたい心の交流スポット

自然を相手にしてこそ  
芽吹く  
真摯な態度と深い気づき

株式会社 早野組

土木本部技術設計部次長 川手美富さん(甲府市) 49歳



### 単なる緑化から生態系の復元へ

高速道路を走っていて、側面に草がびっしり敷き詰められているのを見た覚えはないだろうか。早野組に入社して13年目の川手さんは、そうしたのり面の緑化を担当している。

「これまでの緑化は、ただ単に裸地になったのり面を緑にするという考え方だったんですが、今は生態系も含めた環境の保全・復元を目指すようになってきています」と川手さん。

緑化技術としては、全国的な組織の下に定評のある、SF緑化工法で行っている。SFとはSoil Flock(团粒構造化された土)の略であり、その土を使って自然界で一番いいと言われる森林表層土を復元しよう、というわけだ。

「自然の土を使ったんでは流れてしまうんですよ。このSF工法なら、1時間100ミリの雨でも流れにくい土(基盤材)を作れるんです」山梨の場合だと、富士山麓に森林表層土によく似た埴壌土があり、それを利用してプランツで製品化するそうだ。緑化協会の県支部ができた5年前から数えて、携わった現場は100を越えるという。難しいのはそれぞれの場所によって土質や勾配、気象条

件、日照が違うこと。「発注者の方に応えるためにも、僕らが勉強する意味でも、その全ての現場について毎年最低2回は成長具合を見に行っています」



### 人間もその一部ということを認識

中には片道3時間かかるところもあるそうだ。それでも記録を残したり、定期管理を欠かさないのは、川手さんの面目さゆえだろう。「木本来の生命力の

強さには感心させられますね。いったん気象条件が合わないと、なかなか芽を出さないし、成長もしないんです。ところがそれで枯れてしまったんではなくて、自分が成長できる条件になるまでじっと待っているんです。長ければ2、3年ということもありますよ。だからもうダメかな、と思って見に行くと、フット芽が出てたりね」と話す。

暑さが続くと自分の体の水分を発散させないために、秋でもないのに葉を落とすこともあるそうだ。生きる知恵とでもいうのだろうか。ちなみに自然界で岩盤が風化されて、そこに生物が住めるようなごく薄いものができるまでには、1000年かかるという。

何と氣の遠い話だろう。最後に川手さんはこう付け加えた。

「地球というのは、いろんな生物が繋がり合い共生してできていると思うんですよ。どの生物が欠けてもうまくいかない格好になっているというか。ですから人間もその一部ということを認識して、あまり思い上がってはいけないと思います」

常に自然を相手にしている人らしい、重みのある言葉が印象的だった。

[取材:原田陽子]

# おしゃれ

明るくオープンな雰囲気が魅力的  
Dポットの由来を受け継ぐ呉服店

## グランパーク 着物屋



営業時間 10:00~21:00  
定休日 月に1日  
所在地 甲府市国母5-8-1  
グランパーク本館1F  
TEL 0552-28-1338



グランパークのバイパス寄りのビルが「D・POT・館」として、今もその名残りを伝えるように、以前からここで業務展開していたDポットをご存じの方も多いだろう。そのDポットを興したのが、株式会社「着物屋」は、朝日町で生まれ、呉服屋としてスタートした大型ストア・ツカハラが経営するお店だ。メインエントランス付近に店舗を構えているのすぐわかる。若い人にも気軽に立ち寄っていただけるよう、自由な雰囲気の店づくりを工夫していると話す深沢慎一店長。

足袋や肌襦袢、下駄や帯といった和装小物から様々な和服が充実している。家庭で丸洗いできる小紋(¥3,980~)や洋服感覚ではおれる作務衣もあれば、婚礼用の江戸懐(¥19,800~)や成人式用の振袖(¥98,000~)などの高級品も揃っていて、みているだけでも楽しい。秋はまた、七五三や婚礼シーズンもある。

人生の記念すべき一日を晴れ着で装えば、思い出もグッと華やかに彩ることができるはず。いつでも親切に応対してくれるオープンな雰囲気の「着物屋」だから、気兼ねせず、安心してお気に入りを探せます。

# たべる

## 焼肉 「坊ちゃん」



営業時間 11:30~14:00  
17:30~23:00  
(ラストオーダーは22:30まで)  
定休日 月曜日  
所在地 中巨摩郡電王町西八幡3700-3  
TEL 0552-79-2991



美味しい牛タンにこだわった  
店長の意気込みもフレッシュな店



今年の6月にオープンしたばかりの「坊ちゃん」は、白木俊一さん(31歳)が店長を務める焼肉屋さん。

美味しい牛タンへのこだわりは人一倍強く、本場・仙台まで出向いて舌を鍛えたという。自ら仕込む味付けは、肉の風味を損なわない「あっさりダレ」。おすすめは上タン、タン刺し、タンしゃぶ、カルビと自慢のメニュー。また6種類から選べるランチも650円~と、リーズナブルで大変人気を呼んでいる。「焼肉屋は、新鮮な和牛をお出しするのが当然ですから、そういう面で気を使っていますね。いったん真空状態から取り出したら、いかに早く食べていただかかですね」と白木さん。同じ牛の同じ部分でも、軟らかさに微妙な違いがある点が難しいそうだ。若々しい店長が切り盛りする店内には、店名のごとく、壯快な明るさが漂う。

8テーブルで40名収容可。普段は、家族連れやカップルが多いというが、ときには会社やサークルの仲間と一緒に、景気づけにモリモリ食べて元気をつけるのもおすすめ。ぜひ一度訪ねてはいかが…。

## お茶の間の民俗学 (9)

### —ふるさとの心と味(4)—

#### 八朔の泣きまんじゅう

志摩 阿木夫

しま あきお  
民俗学研究者

#### 八朔

今では八朔という行事も殆ど忘れ去られてしまったが、太平洋戦争が始まる以前までは、農民にとって大切な行事であり、農耕に関わりのない一般の人たちにも無関係のものではなかった。

八朔の朔というのは「ついたち」ということで、旧暦の8月1日を意味し、現在の太陽暦では9月1日を当てているが、この時期稻が穂を出して、秋の実りを予告するところから、この日を「穂出し祭り」ともいい、農家の人はこの朝それぞれの家の田の畦に立って「たくさんのお実りを頼みます」と大声を上げて、田の神様に祈るところから「頼みの節句」とも名付けている。

ともあれ苗代づくりから田植え、田の草取りと汗水流して育ててきた稻が、みごとに実を結んでくれるように祈る心は、真剣そのものであり、それだけにこの行事への期待も大きかった。

またこの時期は古くから言われてきた「二百十日」で台風が訪れる季節でもあるので、せっかく育った稻が台風の被害を受けないように風の神様に祈りを捧げる「風祭り」も行われた。この風祭りの代表的なものが「越中おわら節」で名高い富山県八尾の「風の盆」である。

#### 泣きまんじゅう

八朔は夏の終わり秋の初めの節目の日でもあって、昔から「昼夜の終わり夜なべの始まり」という、くらいの節目でもあった。

そこで農家の嫁や商家の奉公人にとって、この日からは一段と厳しい労働条件が強いられることになり、切ない思いに明け暮れる日々となる。

そこで八朔の日の行事

事食として作られたまんじゅうのことを「泣きまんじゅう」と名付けられた。普通まんじゅうといえば甘くておいしいものとされているが、泣きまんじゅうの場合、餡が塩味であった。これは八朔が過ぎると今までのよう

に甘い日々ではなく、泣き泣き働くかなくてはならない時期であるという。戒めを籠めて食べるものとして、敢えてそうしたのであろうと思われる。そのとおり八朔が過ぎると、間もなく稻刈りから稻



株式投資に熱狂するアメリカにて

…ジョークも笑ってはいられない

映画は時代の鏡か？

…スピルバーグの新作を見て



×月×日  
アメリカでテレビを見ていたら、夜のトーク・ショーで面白いものを見た。黒人のかわいい坊やが現れて、なんと株式投資をしていると言うものだった。

司会者：「ぼうや、学校は？」

坊 や：「うーん…幼稚園年長組」

司会者：「株をやっているって言うけど、ダウ・ジョーンズって知ってる？」  
坊 や：「(ダウ・ジョーンズの正しい定義とその銘柄)…『おー』という感嘆の声」

司会者：「へーその銘柄のうち何が好き？」

坊 や：「うーん、とねマクドナルドとコカ・コーラ」…(笑い)

景気の良いアメリカならではの事が、なんとなく世紀末を感じるのは私だけだろうか？

10年前のバブルの時期、日本人は「一億総不動産屋」といわれ、不動産投資に熱狂した。アメリカの株式投資熱も同じようなところがある。有名な経済学者のサミュエルソンは「1929年の経済恐慌の時、大衆は、それを引き起こした機関投資家を非難したが、今アメリカで同じように株式市場の急落が起こったならば、その非難は、大衆自身に向けられなければならない」と言った。これは、アメリカの株式投資に向かっている資金の多くが、企業からのものでなく、大衆

の個人資産から来ているからである。

多分ワシントンのクリントン政権は「株式危機」に気が付いている。今ごろはその対策ショミレーションに必死になっているだろう。どのようにしてこれを乗り切るかが、現在のアメリカ政権、ひいては世界経済全体の20世紀最後の課題である。この原稿が印刷される頃はどうなっているのだろうか？「エル・ニーニョしていたら、タイタニックだった」では最悪のジョークとなるのだから。

×月×日

今年の夏スピルバーグの新作映画で多分最も話題になる作品を見た。英語のタイトルは、「Saving Private Ryan」である。日本語に訳すと「ライアン氏救出作戦」…(これは直訳なので余りに醜い)となる。

日本でも既に紹介されているかもしれないが、第二次世界大戦末期に、ヨーロッパの戦線で戦った兵士の物語である。

アメリカ人はこの手のスペクタクル的な映画が好きである。内容がどうあれ、感想は「気分はもう戦場」と言ったところで、ローマのコロシアムの闘技場を連想したら、映画会社に怒られるかもしれないが、いわゆる手に汗握

るものであった。

前にタイタニックを使って悪い冗談を言ったが、映画は本当に時代を映す鏡だと思う。いささかこじつけがましいが、例を挙げるときりがない。記憶に新しいものは、バブル時代の「マルサの女」(邦画)、環境保護活動が活発になってきた時代の「ダンス・ウィズ・ウルブズ」、アメリカが80年代の痛手から立ち直ろうとしている時の「フォレスト・ガンプ」、つい最近のハリウッドにおけるアジア人監督の活躍、等々、私はたいした映画ファンではないので、ヒット作とその時代背景について詳しい評論家の方に意見を伺ってみたいものだと思う。

さて今年の話題作だが、これがヒットしたとして、映画の中のどのようなメッセージが時代を映しているのだろうか？

いったい何を救出したいのだろう？「正直に…」(映画のメッセージの一部)とは、何を意味しているのか？原稿の前半部分の内容を踏まえて、題名を「個人投資家救出作戦」としたら、経済学者の病気だろうか？

本当は、映画なんて「楽しく見て、感動すればそれでいい」のだけれど……。

[文：杉村 啓]